

# 令和8年度 事業計画

## 1 基本計画

令和8年度の南部広域シルバー人材センターを取り巻く社会・経済環境は、大きく変化しつつある。

少子高齢化の加速に伴い、地域では労働力不足が深刻化し、農林業、生活支援、地域インフラ維持など、地域を支える分野において高齢者の活躍の期待が一層高まっている。一方、物価上昇やエネルギー価格の変動に加え、ガソリン税暫定税率の段階的廃止や所得税控除額の引き上げなど国の税制・経済対策が家計や事業活動に影響を及ぼすことが見込まれる。

これらの動向は会員の就業意欲や発注者の発注動向にも少なからず影響を与えることから、柔軟で安定した事業運営が求められる。ガソリン税暫定税率の段階的廃止により、移動コストの軽減が期待される。センターとしては、就業条件への影響を注視しつつ、会員の実質的な就業環境の改善につながるよう配慮するとともに、会員が安心して働ける丁寧な情報提供を行う。

安全就業の推進は、令和8年度においても最重要課題として位置付け、高齢化に伴う転落・転倒事故、熱中症、交通事故等の防止を重点項目とし、会員に対する安全基礎研修の徹底、作業別の実技講習の計画的実施、安全パトロールの強化を行う。あわせて、高リスク作業の受注判断基準を精査し、『無事故・無災害・事故ゼロ』を基本とした就業環境の整備を図る。

会員拡大と就業機会の確保については、説明会や広報活動を通じて会員数の維持・増加につなげる。また多様な働き方の情報提供を行い、自治体や企業との連携を通じて安定した就業機会の確保に努める。デジタル化の対応としては、業務の効率化と情報発信力の強化を進め、会員向けスマートフォン講習会の実施により、事務負担の軽減と会員の利便性向上を図る。また、令和7年4月施行の公益法人制度改正を踏まえ、新たに外部理事・外部監事の導入により、役割をガバナンスと透明性の一層の向上に取り組む理事会運営の適正化、コンプライアンス体制の強化、内部統制の充実を図り、地域から信頼される法人運営を推進する。

令和8年度は会員の安全を第一に『自主・自立・共働・共助』の基本理念を堅持し、『安全・適正就業の徹底による“事故ゼロ”』を最重点課題とした活動に取り組めます。社会情勢の変化に柔軟に対応し地域に不可欠な高齢者の活躍拠点として、以下の重要目標を掲げ、会員・役員・職員が一丸となって持続可能で信頼されるセンター運営を目指すものである。

## 2 事業実施計画

### (1) 公益社団法人としての事業運営

公益社団法人に移行後14年目を迎える本センターは、今後とも公益社団法人としてふさわしい運営基準と関係法令を遵守した事業の運営に努め、活力ある高齢社会を支える地域の中核組織として、地域社会から従来以上に幅広い理解と協力が得られるよう信用性、公益性、透明性の高い事業運営に努める。

併せて、公益社団法人の使命として、業務を通じて地域の課題解決や人々の暮らしを支える活動、地域産業の支援等にも積極的に取り組むことに努力を注ぐ。

## (2) 就業機会の拡大

地域のニーズを的確に把握し、既存就業の安定確保に加え、新たな就業分野の開拓に取り組む。農業支援、環境整備、公共施設管理など、地域課題に対応した就業を推進し、会員一人ひとりの能力に応じた就業機会の拡大を図る。

受注の拡大は常にセンター運営の基軸に据えなければならないことと考える。このため、今後とも就業機会の確保並びに拡大については従来以上に力を入れた取り組みを継続していく。

上記の具体的な取り組み内容は以下のとおりである。

- ① 派遣就業先の開拓
- ② 今年度も引き続き日常の業務に就業開拓を取り入れ、企業や官公庁、学校、保育園、個人宅の訪問活動に取り組む。
- ③ ホームページの活用による、南部・伯耆両町エリア外からの受注の拡大に努める。
- ④ 南部・伯耆両町のイベント等の機会を捉え、シルバー業務の周知を図る。
- ⑤ 新聞やテレビ、ラジオ等の媒体を活用し、シルバー業務の周知を図る。
- ⑥ 広報紙によるシルバー業務の周知を図る。
- ⑦ 一般家庭に対する訪問活動による受注の拡大を図る。

## (3) 会員の新規加入促進

会員の確保は、シルバー人材センター事業の根幹をなすものである。高齢者人口の減少や会員の高齢化を踏まえ、60歳前後の若手高齢者層を中心とした新規会員の加入促進に取り組む。入会説明会の充実、体験就業の実施、関係団体との連携を強化し、働く意欲のある高齢者の掘り起こしを図る。

令和8年度に実施を予定する活動は以下の通りである。

- ① ホームページによる会員の募集
- ② 役員及び会員、職員による会員勧誘活動
- ③ 南部・伯耆両町のイベントでの会員募集の周知活動
- ④ 広報「南部シルバーだより」(年2回)によるシルバー活動の周知
- ⑤ 入会説明会の定期開催(毎月第3水曜日)
- ⑥ 会員相互の親睦活動の支援(研修旅行、各種趣味サークル活動、スポーツ活動)
- ⑦ 女性会員拡大を目指した女性会員による研修会やイベントの開催
- ⑧ 就業を目的とした技能講習の開催

## (4) 普及啓発活動

広報誌、ホームページ、SNS等を活用し、センター事業や会員の活躍状況を積極的に発信する。地域イベントや説明会の参加を通じて、シルバー人材センターの役割や公共性について理解を深め、発注者及び新規会員の確保につなげる。

シルバー事業の理念、意義を地域の方々に広くご理解頂くために、南部町、伯耆町の全戸に配布する広報紙「南部シルバーだより」を年2回(66号、67号)発行する。

また、10～11月には、南部・伯耆両町の公共施設の除草や剪定などの奉仕作業の実施、さらに南部・伯耆両町のイベントでの宣伝活動など、地域社会に向けて広く普及啓発活動に取り組む。

#### (5) 適正就業の推進

適正な就業形態については、関係法令の一層の遵守に努めているところだが、引き続き、適正な就業形態を目指し、法令を遵守した就業を進める。また、会員に均等な就業機会を提供することにより、未就業会員の解消に努める。

#### (6) 安全就業の徹底と会員の健康管理

「安全は、すべてに優先する。」を合言葉に、会員同士で日頃から声をかけ合うなど、就業途上や就業中の事故防止に努める。また、広報を利用した安全就業の呼びかけや理事、安全就業対策委員、安全対策推進員のパトロールによる個別指導を行うとともに年に1回、安全就業研修会を実施していく。また、入会説明会時も安全就業研修を実施し、会員の更なる安全意識の高揚に努める。

会員の健康管理については、町が行う住民健診を積極的に受診するよう勧めていく。

- ① 安全就業対策委員会の開催 年3回
- ② 安全就業対策委員による安全パトロール 年3回
- ③ 理事による安全パトロール 年2回
- ④ 安全対策推進員によるパトロール 南部、伯耆地区各月2回程度（5月～12月）
- ⑤ 事務局による就業現場のパトロール 随時
- ⑥ 安全就業強化月間（5月、7月）の取組み
- ⑦ 新規加入会員への安全就業研修 入会説明会時
- ⑧ 安全だよりの発行（毎月のシルバー便りに安全コーナーを併記）
- ⑨ 安全就業研修会（交通安全を含む。）年1回
- ⑩ 派遣会員を対象とした健康や就業上の技能向上を図る講習
- ⑪ 会員への健康診断のよびかけ 会費納入時に健康管理について聴き取り

#### (7) 会員の意識と技能の向上

シルバーの基本理念である、「自主・自立・共働・共助」について会員に周知を図り、会員として常に誠実な就業を心掛けるよう新入会員説明会などで徹底していく。また、就業意識の向上と技能の継承を目的に、職種別講習会等を実施する。接遇マナー、作業技術、安全意識の向上を図り、発注者から信頼される会員の育成に努めるとともに、リーダー会員の育成に取り組む。

デジタル社会において高齢者である会員が置き去りにならないよう、会員向けのスマホ教室を開催するなど、積極的に支援を行う。

#### (8) 会員の福利厚生

会員相互の交流促進と生きがいづくりを目的に、親睦事業や健康増進活動を実施する。各種行事や表彰制度を通じて会員の帰属意識を高め、継続的な就業意欲の向上と退会防止につなげる。今後は、会員の自己負担額ができるだけ少ない事業を工夫し、会員相互の親睦を図る活動を実施してまいります。

## (9) 円滑な事務局業務の効率化について

会員専用サイト「Smile to Smile」の活用による文書や情報等の共有迅速化や低コスト化が進みつつある。

受注から請求までの業務の電子化など、引き続き事務の効率化を図る。

本所事務所においては公共施設の一部を借り、町民のみなさんが気軽に寄りやすい環境にしている。年間180,000円かかる使用料のうち、半額の90,000円を南部町様に補助していただくことで円滑に法人運営、事業を行うことができています。

今後も、限られた人員体制の中でも安定した事業運営ができるよう体制整備に努める。

## (10) 公益法人制度改正に対する対応

令和7年4月施行の公益社団法人制度改正を踏まえ、定款・諸規定の整備や役員体制の適正化を図る。外部理事・外部監事の活用やガバナンス強化を進めるとともに、改正内容を役員・職員が十分理解し、適正な法人運営が行えるよう周知徹底する。

## 令和8年度目標

### (1) 請負委任・包括的契約（令和7年度実績は見込み）

年 度	会員数 (人)	受注件数 (件)	就業延日人員 (人)	契約金額 (千円)
令和8年度 目 標	370	2,650	18,700	94,700
令和7年度 実 績	331	2,200	19,250	126,000

### (2) 労働者派遣（令和7年度実績は見込み）

年 度	受注件数 (件)	就業延日人員 (人)	契約金額 (千円)
令和8年度 目 標	24	8,500	33,000
令和7年度 実 績	22	7,600	33,800